

「家庭や地域の方の知恵を借りて、自分の苦手を克服しよう」

取組概要

家庭や地域の方々との「学校花壇整備」や、PTA活動における「親子で弁当作り」を通して、自分たちの課題克服に努め、多くの人からその過程を認められる取組となりました。

1 学校の課題を探り

- 全校生徒 1年生54名 2年生58名 3年生66名 計178名
- 職員数 17名
- 本校では、教育に関心の高い家庭や地域が多い半面、基本的生活習慣の定着が十分でない生徒や学習環境が十分に整えられていない家庭も少なくないという実態があります。また、核家族化がすすみ、家庭や地域の教育力が低下している面も見られます。そのため、他者とコミュニケーションを十分にとれず、自分の思いや考えを相手に上手に伝えることができない等、表現力の育成に課題がみられました。さらには、自分なりに目標や見通しをもって物事に取り組みない生徒も多く、学ぶ意欲や自尊心の低下といった課題もみられました。

2 目標を立て

- ☆ 家庭や地域の方々の協力により、学校を中心として生徒個々にあった課題解決に向けた支援体制を構築する。
- ☆ 「学校花壇整備」や「親子で弁当作り」を通して、家族とふれあい、家族との絆をさらに深めることができるようにする。

3 鍛えて、ほめてみる

【目標設定】

(1)自分の苦手なことを明確にし、各活動に向けた目標を設定

これまでの学校生活を振り返り、他者とのコミュニケーションを十分にとれない、自分の思いや考えを上手に相手に伝えることができない、見通しをもって取り組むことが苦手、自信をもって行動できない等の自分自身の苦手なことを明確にしました。また、自分の課題を克服するための「学級花壇の整備」「親子での弁当作り」の各活動の目標を設定しました。

【挑む】

(2)家庭や地域の方々とのふれあう場を設定

① 学校花壇の整備

必然的にいろいろな人と接する場をつくるために、家庭や地域に声かけを行い、生徒会行事である「学校花壇整備」への参加をお願いしたところ、多くの方に参加していただくことができました。生徒は初めてお会いする保護者や地域の方々とは様々な会話をしながら、花植えをしていました。

生徒は、花を上手に定植させる方法や日常の管理の仕方を教わったり、学校生活や将来の事などについて聞かれたりしながら、はじめは緊張した面持ちで会話を交わっていた生徒も、作業が進むにつれて徐々に笑顔が見られるようになりました。

自分の思いや考えを相手に上手に伝えられなかったときも、相手の方にうまくフォローされながらコミュニケーションをとることができ、生徒にとっては、様々な方と触れ合う大切さを実感することができた貴重な1日となりました。



正門前に定植された花



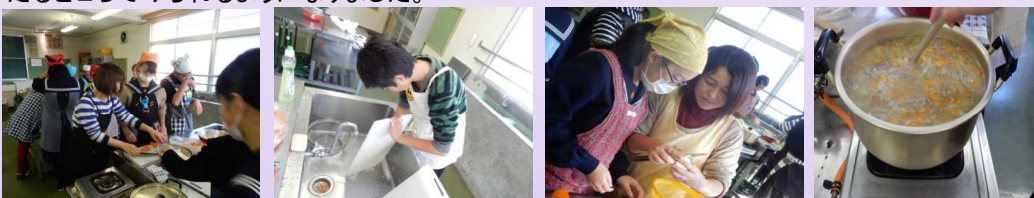
家庭や地域の方々とのふれあう生徒



② 親子ふれあい活動(親子でカレー作り)

「親子で弁当作り」を実施する前に、各学年ごとに調理体験の場を設定しました。メニューはカレーライスを中心に、各学年の保護者の創意工夫されたサイドメニューを保護者と共に調理しました。

生徒は、慣れない手つきで失敗しながらも真剣に材料の準備をしている様子うかがえました。保護者の方々に包丁の使い方から片付けの手順まで、いろいろなことを丁寧に教えて頂き、できるようになったことをほめてもらうことで、自信をもって調理する生徒の姿が調理室のいたるところで見られるようになりました。



保護者とともにカレー作りを行う生徒

③ 親子で弁当作りの場の設定(『早起き・朝食・弁当の日』)

福岡県PTA連合会の取組の一つ「新」家庭教育宣言を活用し、『早起き・朝食・弁当の日』をテーマに「親子で弁当作り」の取組を行いました。期間を1週間に設定し、毎日の弁当作りが難しいときは、弁当作りのお手伝いを行うようにしました。

取組後の生徒の感想

- 弁当の日は卵焼き以外にも他のおかずを作れるようになりました。
- 弁当箱を洗うのは時々できなかったけど、これから手順よくちゃんとしたいです。

取組後の保護者の感想

- 朝一緒に弁当を作ることができました。会話はみずみずしかったです。
- 朝は自分で起き、一人で弁当の具材や栄養等を考えながらバランス良く作ることができ驚きました。余った具材で妹たちの分の朝食まで作ってくれて、一緒に食べていたので「大人になったなあ」と強く感じました。

【ほめる】

(3)家庭や地域の方々からの賞賛の場を設定

各活動後、地域の方や保護者の方から、生徒の取り組み方に対する評価をしていただきました。一生懸命に取り組んでいたことを賞賛されたり、できなかったことができるようになったことをほめられたりすることで、生徒は、達成感や成就感を得るとともに、自信をもつことができました。また、他者と協力して物事に取り組むことの大切さ、自分の思いや考えを相手に伝えることの必要性、見通しをもって物事に取り組むことによって目標を達成することができること等を感じ取ることができていました。

4 こんな成果があった!

- SRT調査結果から、自尊感情が3ポイント上がりました。
- 様々な活動に対して意欲的に取り組むようになり、授業においても積極的に発言したり表現したりする生徒の割合が増加しました。

5 ココがポイント!

- ① 生徒と保護者や地域の方とのふれあいの場の設定が大切!
生徒をほめて応援できる場ができました。
- ② 取組のつながりや継続性が大切!
各取組の場の設定に、関連性をもたせたことが生徒たちの成長につながったと思います。

